

令和5年度サテライト梨花の里アスピア事業報告書

1. 運営方針について

アスピアの運営方針である「入所者の自立した生活と尊厳ある暮らしを守る」ため、入所者の身体機能や認知機能に合わせて個別ケアを見直し、職員配置等の体制整備と、居心地よく暮らすことができる環境づくりに取り組んだ。

全職員で共通認識を持ち、それぞれの職種が専門的技術や経験を個別ケアの実践に活かしたことで、尊厳を意識した声掛けや相手の気持ちに共感した関りが増え、入所者一人ひとりがその人らしい生活を継続していくことができた。

2. 事業目標評価について

3カ年目標の『感染症対策の強化』『災害を想定した業務継続の取り組み』『デジタル化による業務効率化』『科学的介護の推進』を推進した。

(1)生活援助係（介護）の評価

ICT・IOT機器（介護記録ソフト「ほのぼの」・「眠りスキャン」）から得られたデータを基に、入所者の健康状態の変化を捉え、介護状態が悪化する前に予防ができる「予測する介護」の実現に向け取り組んだ。

主に、食事量や活動量、睡眠時間、呼吸数等のデータに着目し、変化が現れた際には、早期に看護職員と連携して体調不良者の発見・対応に努めた。

姿勢ケアでは、継続して拘縮のある方には、ポジショニングクッションを使用し、身体とベッドの間に生じる隙間を減らし、リラックスできる姿勢作りをおこなった。筋緊張の緩和に加えて、血行を良くするためのマッサージも続けたことで、特に効果が現れた方は、肘や膝関節の可動域が最大18cm広がり、安楽な姿勢で食事が摂れるようになった。

(2)生活援助係（医務）の評価

入所者の健康管理については、ICT・IOT機器を活用し、介護職員と連携して体調変化の早期把握・早期受診に努めることができた。

看取り介護については、その人らしい最期が迎えられるよう医師・他職種協働体制のもと一体的に取り組む、身体的なケアだけに留まらず、心の支えやその家族へのケア・サポートにも配慮した。

新型コロナウイルス感染症対策については、5類移行後も「持ち込まない」「広げない」「持ち出さない」を徹底し、月単位で重点目標を立てて取り組むことで、感染症への意識が低下しないよう努めた。また、毎月の感染症想定訓練では、実施期間を1日から1週間に延長するなど、多くの職員が訓練に参加できるよう工夫した。

(3) 給食調理係の評価

安心・安全な食事を楽しんでいただくため、一人ひとりの食形態と禁食等を反映した食札の導入及び、入所者の嚥下状態に合わせた飲み込みやすい食事を提供した。

また、食事の満足度を高めるため、残食量の確認や職員による聞き取りによって、嗜好等の把握に努め、選択食やリクエスト食を実施した。入所者が要望する食事には、「本人の好物」や「母親の得意料理」など様々であったが、食事時には当時の記憶がよみがえり、思い出話に花が咲いた。

感染症や災害発生を想定した非常食では、調理員が中心となり、介護職員に指導したことで、円滑に食事の準備をすることができた。

(4) 生活援助係（介護支援専門員）の評価

入所者に適切な介護サービスが提供できるよう、入所者・家族の意向を踏まえプランを作成した。プランを作成するうえでは、ニーズとしてネガティブな主訴はポジティブな内容に置き換えるなど、入所者の視点から望まれる生活がしたいと思えるような前向きなプラン作成に努めた。

(5) 生活援助係（機能訓練指導員）の評価

入所者が意欲的にリハビリに参加ができるよう、個々の身体状況に応じた機能訓練を実施した。訓練中は、意識して褒め言葉をかけたことで、入所者のモチベーションを効果的に上げることができた。

レクリエーション活動では、リズム体操、音楽、ほうほく文化祭への作品作り等を行い、心身の健康保持・増進に取り組んだ。

(6) 生活相談員の評価

特養及びショートステイの新規入所については、その方が生きがいをもって意欲的に生活ができるよう、介護上の問題だけに目を向けるのではなく、これまでの生活習慣、物的環境等、個人を把握するための情報収集に努めた。

また、介護職員と連携して入所前と入所後の環境が大きく変わらないよう配慮し、安心して施設生活を送っていただけるよう支援した。

施設運営については、令和6年度の介護報酬改正に合わせて、適切なサービスが提供できるよう他部署と協同し、新たな支援体制を構築することができた。

(7) 総務係の評価

業者・訪問者の対応については、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も引き続き玄関先での検温・消毒に努めた。

年末年始にはアクリル板越面会を行い、16家族（延べ45名）が来所された。

施設の設定備、器具備品については、耐用年数や経年劣化に応じて修繕・新規購入を迅速に行い、入所者の生活や職員の労働環境に支障をきたすことなく施設運営を進めることができた。

施設環境については、新たに看取り室を増築し、家族と最期の時間を過ごせる住環境を整備した。

また、高騰する食材・光熱費については、市や県が実施する光熱費及び物価高騰に係る支援事業補助金を活用し、加えて消耗品については、安価な取引先から購入する等、経費削減に努めた。

全職員共通

(1) 労働環境の充実

働きやすい職場づくりとして、介護職員の負担軽減を図るため、県が実施する介護ロボット導入支援事業補助金を活用し、自動体位変換機能を搭載したエアマットレスを2台導入した。また、夜勤職員から転倒リスクが高い入所者の見守りを続けることによる、精神的負担が大きいという意見からセンサーマットを1台追加購入した。

更に、日常会話から職員のニーズを捉え、パソコンの性能をアップさせたことで、書類及び日誌の作成に掛かる時間を短縮させることができ、作業効率を上げることにつながった。

(2) 人材育成・技術の向上

職員育成については、新たに新人職員用に研修プログラムを作成し、段階的に知識・技術が習得できるよう努めた。

オンラインを含めた外部研修には、各部署から延べ32名が参加した。うち、2名の介護職員はユニットリーダー研修を修了し、研修で学んだ知識を実践で活かしたことで、リーダーとしてのマネジメント能力とモチベーションを高めることにつながった。

(3) 地域貢献活動

地元の障害者在宅支援センターでの出前講座に講師として梨花の里と一緒に参加した。「身体拘束について」をテーマに、身体拘束をしないためのプロセスやケアに関する知識の普及に努めた。

「café よつ葉」については、感染症対策により開催することができなかった。

3. 職員の状況

職員数と令和5年度中における異動

職種	区分	現員 (人) R5. 4. 1	令和5年度中における異動				現員 (人) R6. 4. 1
			退職者 (人)	採用者 (人)	異動出 (人)	異動入 (人)	
正職員	施設長	1			1	1	1
	事務職員	1					1
	生活相談員	1					1
	看護職員	1					1
	機能訓練指導員	0					0
	介護職員	13	1			2	14
	介護支援専門員	(3)					(3)
	栄養士	(1)			(1)		0
	調理員兼介護職員	1					1
常勤職員	看護職員	2			1		1
	機能訓練指導員	(1)					(1)
	介護職員	6			2		4
	調理員兼介護職員	2					2
	介護補助員	(1)					(1)
非常勤職員	事務職員	(1)					(1)
	看護職員	0				1	1
	介護職員	1				2	3
	栄養士	1					1
	調理員兼介護職員	1		2			3
	宿日直員	3	1	1			3
	嘱託医師	1					1
	合計	(7) 35	2	3	(1) 4	6	(6) 38

() の数字は他職種と兼務・事務職員及び栄養士については梨花の里と兼務

4. 入所者の状況

本入所の状況（令和6年3月31日現在）

地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)	令和5年度の入退所者		
				入所(人)	退所(人)	差異(人)
豊北町	4	23	27	8	5	3
豊浦町	0	1	1	1	0	1
豊田町	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	0	2	△2
合 計	4	25	29	9	7	2

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)	最高年齢 男 96歳 女 100歳 最少年齢 男 74歳 女 77歳 性別平均年齢 男 88.0歳 女 89.2歳 平均年齢 89.0歳
～70歳	0	0	0	0.0	
71～80歳	1	2	3	10.3	
81～90歳	1	11	12	41.4	
91～100歳	2	12	14	48.3	
101歳～	0	0	0	0.0	
合 計	4	25	29	100.0	

区 分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食 事	自 立	4	13	17	58.6
	一部介助	0	6	6	20.7
	全面介助	0	6	6	20.7
排 泄	自 立	0	1	1	3.4
	一部介助	4	12	16	55.2
	全面介助	0	12	12	41.4
入 浴	一 般 浴	3	7	10	34.5
	リフト浴	1	6	7	24.1
	特 殊 浴	0	12	12	41.4

5. 実績

(1)特養（定員 29 名）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実績	810	851	811	837	825	821	826	803	855	866	833	868	10,006
	利用率	93.1	94.6	93.2	93.1	91.8	94.4	91.9	92.2	95.1	96.3	99.0	96.5	94.2
令和4年度	実績	829	899	861	876	868	822	887	870	889	887	799	831	10,318
	利用率	95.3	100.0	98.9	97.4	96.5	94.5	98.6	100.0	98.8	98.6	98.3	92.4	97.5

令和5年度における入退所状況

入所 9名（男性2名、女性7名）

- ・要介護3・・・2名
- ・要介護4・・・7名

退所 7名（男性1名、女性6名）

- ・施設にて死亡・・・・・・・・・・5名
- ・治療のため・・・・・・・・・・1名
- ・3カ月を超える期間の入院・・・1名

(2)短期入所（空床利用型）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実績	30	31	38	42	53	31	40	4	15	0	0	3	287
	利用率	3.4	3.5	4.3	4.6	5.9	3.5	4.4	0.5	1.6	0.0	0.0	0.3	2.7
令和4年度	実績	24	0	0	0	10	42	7	0	0	0	0	10	93
	利用率	2.7	0.0	0.0	0.0	1.1	4.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.8

令和5年度におけるショートステイ利用件数は14件（うち9件が新規利用者）

利用状況について

- ・要支援1 2件（延べ日数 16日）
- ・要介護1 8件（延べ日数 51日）
- ・要介護3 2件（延べ日数 8日）
- ・要介護4 1件（延べ日数 210日）
- ・要介護5 1件（延べ日数 2日）

ショートステイ利用の理由

- ・心身の状態が悪化し、自宅で生活できなくなったため・・・・・・・・・・2件
- ・冠婚葬祭等により同居家族が外出し、介護者が不在となったため・・・9件
- ・利用者本人が希望したため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- ・介護者の休息のため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件

(3)合計利用率 (1) + (2)

延べ人数 (日数×人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実績	840	882	849	879	878	852	866	807	870	866	833	871	10,293
	利用率	96.5	98.1	97.5	97.7	97.6	97.9	96.3	92.7	96.7	96.3	99.0	96.8	96.9

7. その他

(1)年間の主な会議の実施結果

会議名	内 容	開催日	出席者
運 営 会 議	施設全体の方向性の確認 行事の確認等	毎月 (梨花の里合同)	施設長、生活課長、生活援助係長 生活相談員
職 員 会 議	事務連絡	4, 6, 8, 9, 10, 11, 12, 1, 3 月	全職員
施 設 内 研 修	各種研修会	4, 6, 8, 9, 10, 11, 12, 1, 3 月	全職員
運 営 推 進 会 議	活動報告、意見交換	7, 9, 11, 1, 3 月	施設長、施設職員、家族代表 福祉関係機関職員等
リ ー ダ ー 会 議	各部署の課題の協議 施設行事の確認 職員の気づきを踏まえた勤 務環境やケア内容の改善	4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 1, 2, 3 月	施設長、生活課長、生活援助係長 リーダー以上、各部署代表
サービス担当者会議	各職種が集まりサービス 内容を検討し、入所者の ケアプランを決定する	年 2 回/1 入所者	介護支援専門員、ユニット職員 各職種代表
入所検討委員会	入所待機者名簿を作成する	6, 9, 12, 3 月	施設長、各職種代表、第三者委員
苦情解決委員会	苦情に関する事例報告	3 月	第三者委員 理事長、施設長、生活課長 法人内の各施設の生活相談員
ユ ニ ッ ト 会 議	入所者の状況確認 ケア内容の決定 課題抽出	光ユニット 12 回 風ユニット 12 回 虹ユニット 12 回	各ユニット職員
給食調理係会議	業務の改善、行事食等の確 認	12 回	生活課長、生活援助係長 栄養士、調理員
処遇に関する委員会	褥瘡対策チーム	5, 8, 11, 2 月	生活課長、生活援助係長 各ユニット介護職員 各部署代表
	感染症対策委員会※	6, 9, 11, 2 月	
	身体拘束等防止・監視委員 会	5, 8, 12, 3 月	
	口腔内のたんの吸引等安 全対策委員会	4, 7, 10, 1 月	
	食事内容の検討会議	6, 9, 12, 3 月	生活課長、生活援助係長 リーダー以上、各部署代表
	事故発生防止委員会	4, 7, 10, 1 月	
	見守り機器を安全かつ有効 に活用するための委員会	6, 9, 12, 3 月	
	虐待防止委員会	5, 8, 11, 2 月	
質の評価検討会議	6, 10, 2 月		

【感染症対策委員会事業評価について】

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の 5 類移行後も未だ収束がされていないため、感染症対策委員会を中心に、下関市内の感染症の発生情報の状況を把握し、感染症予防対策を継続した。また、職員の健康管理の強化及び週 2 回の抗原検査を徹底したことにより、施設内の感染者数をゼロにすることができた。その他、インフルエンザ、食中毒等の感染症においても入所者への発生はみられなかった。

(2)年間行事実施結果

月	行 事	関連行事等
4	お花見	山口県議会議員一般選挙不在者投票 衆議院議員補欠選挙不在者投票
5	春の外出（滝部資料館前児童遊園）	職員検診（夜勤者のみ）
6	花と緑の日 お楽しみ Day（いぎの葉団子）	新型コロナワクチン予防接種（6回目） 下関市老施協職員ボーリング大会 入所検討委員会
7	お楽しみ Day（パフェ） 七夕会 映画観賞会	運営推進会議
8	盆法要 入所者・職員懇談会（各ユニット） 夕涼み会（各ユニット）	害虫駆除 AED・心肺蘇生法研修
9	敬老会	非常食提供模擬訓練 入所検討委員会 消火避難訓練（日中想定） 運営推進会議
10	運動会 秋の味覚を味わう会 芋ほり	入所者結核検診 下関市老人福祉施設交流演芸大会 新型コロナワクチン予防接種（7回目）
11	焼き芋 入所者・職員懇談会（全体） 芋煮会	インフルエンザ予防接種 職員検診（全職員） 害虫駆除 運営推進会議
12	クリスマスバイキング クリスマス会 もちつき	入所検討委員会 アクリル板越し面会
1	元旦行事 初詣 鏡開き	消火避難訓練（夜間想定） 運営推進会議
2	節分会 お楽しみ Day（ラーメン） 入所者・職員懇談会（各ユニット）	
3	ひな祭り お楽しみ Day（お茶会・桜もち） 彼岸法要	入所検討委員会 苦情解決第三者委員会 運営推進会議 地震災害想定避難訓練
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の日（第2月曜日）・お念仏の会・喫茶（第2火曜日）・感染症想定訓練（第2火曜日） ・外出支援（ドライブ）・選択食（第3金曜日）・誕生日会（第4火曜日） 	

(3) 給食の状況

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食1日単価)	
1日当たりの 平均栄養量 及び給食単価	令和5年度実績	1,407 kcal	経口	829 円
		800 kcal	経管	737 円
	令和4年度実績	1,336 kcal	経口	836 円
		800 kcal	経管	923 円

(4) 主な帳簿

種 別	記 録 事 項
介護日誌	介護に関わる記録
施設サービス計画書	入所者一人ひとりのケア計画
個人ケース	入所者の日々の記録
看護日誌	看護に関わる記録
機能訓練日誌	機能訓練に関わる記録
出勤簿	出勤時、押印するもの
出張命令簿	出張の際管理者に届け出るもの
新型コロナに係る体温・体調記録簿	午前の検温、勤務時の体調把握